保険者国保事業紹介

# 課題は収納率向上対策の推進

# 保険税を納めやすい環境づくりに努力

# 子育て支援を充実――――――――――久御山町

久御山町では、収納率向上特別対策本部を中心に、実態把握を行い、あらゆる機会において啓発活動を行うなど、保険税を納めやすい環境づくりに取り組んでいます。また、子育て時の経済負担の軽減を図るため、医療費を中学校就学まで月２００円を超える額を助成しています。

〔町の概要〕

京都市の都心から南へ約１５km、山城盆地の南西部に位置し、北は京都市、東は宇治市、南は城陽市、八幡市に隣接している。

昭和２９年に、佐山村と御牧村の２村が合併して、久御山町が誕生した。

もともと、純農村地域だったが、幹線道路として、大阪を結ぶ国道１号枚方バイパスが開通した昭和４１年ごろから、町の様相が変わり始め、工場や事業所が進出し、同時に町東部を中心に住宅開発が進んで、人口も急増し始めた。

町の中央部を国道１号が、その東部に国道２４号が南北に走り、京滋バイパスとつながっている。

さらに、平成１５年には第二京阪道路が開通し、これらを結ぶジャンクションが完成し、京都・大阪・奈良・滋賀等を結ぶ、道路交通ネットワークが一層充実してきている。

## ●国保の概況

久御山町では、国保事務は、国保医療課が担当していますが、賦課徴収は税務課、保健事業については、長寿健康課や教育委員会との連携を図りながら進めています。

国保の事業規模は、１，５５９，０００千円（平成１８年度の歳入歳出決算額）ほどで、制度運営は、財政が厳しい状況の中ではありますが、事業の円滑な運営に向けて積極的に取組んでいるところです。

## ○被保険者の状況

平成１８年度末の被保険者数は、６，５０３人、世帯数は３，２３２世帯となっていて、平成１７年度末と比較すると、被保険者数で５６人（０．９％）の減少、世帯数は、６１世帯（３．６％）の増加となっています。

全人口に対する加入率は、３７．９３％となっていて、平成１７年度末と比較すると、０．２ポイントの減少となっていますが、人口は年々減少していますが、加入者数は、増加傾向にあるといえます。

## ○保険税の状況

国保税（税を選択）は、４方式を採用しており、加入者の税負担の軽減を図るため、税率を据え置いてきたこともあり、応能割合が５８．１％と高く、平準化の取組みが課題となっています。

調定額（現年度分）は、加入者の増加傾向にもかかわらず減少しており、平成１８年度は、８年ぶりの税率改正により増加に転じたものの、減少傾向には変わりなく、長期的な景気低迷の影響が、当町の国保にも顕著に現れています。

## ○医療費の状況

医療費につきましては、一人当たりの医療費は、一般では減少していますが、退職、老人とも上昇しています。

京都府内の市町村では最も低い位置にありますが、今後は、人口増加を見た世代の高齢化が見込まれ、また、都市に接し、受診の利便性やニーズの変化など、医療費の増加は避けられないと考えており、従来にもまして保健事業や医療費の適正化、併せて、保険税の収納率の向上に取り組まなければならないと考えています。

## ●収納率向上対策の取組み

平成１８年度の収納率は、現年度分で８９．６１％と、前年度に比べ０．９８ポイント減少しており、京都府内２６市町村の中でも、下位の位置になっています。

もちろん、収納率向上特別対策本部を中心に、滞納者の実態把握を行い、町職員や専任の徴収嘱託員による訪問徴収、納税相談及び口座振替の推進などを行っています。また、徴収強化月間（５月・１２月）を設け、職員による夜間訪問徴収などに取り組んでいます。

課題としては、夜間徴収には、訪問時間帯の制約もあるので、特に人口の多い集合住宅において、不在が多く面談ができないところが増えてきており、対応策を考えているところです。

今後も、滞納者との接触に努めるとともに、あらゆる機会において啓発活動を行うなど、保険税を納めやすい環境づくりに、取り組んでいきたいと思っております。

## ●保健事業の取組み

保健事業は、健康づくり事業の主なものとして、庁内関係課との共同による「スポーツレクリエーション祭」や、宇治市・城陽市・久御山町合同の「水中運動教室」、「元気フロンティア教室」を毎年実施しています。

そして、町の産業祭「ふるさとフェア久御山」において、国保税収納促進啓発コーナーでの、健康促進啓発にも取り組んでいます。

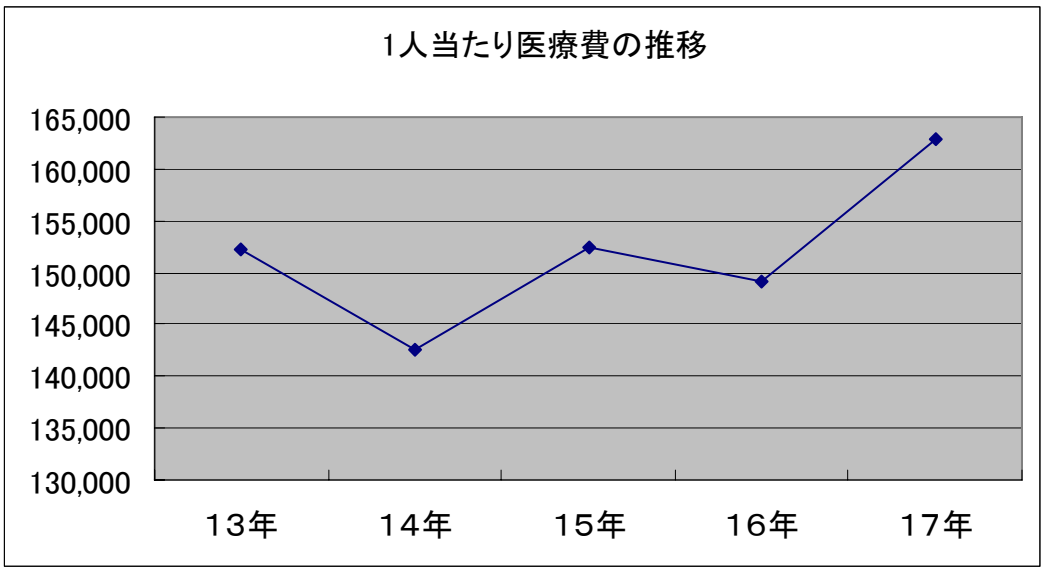
また、疾病予防事業として、人間ドッグ・脳ドッグの健診料を助成し、被保険者の健康管理の促進に努めています。

## ●子育て支援事業の取り組み

子育て支援医療費支給事業は、子育て支援の一つとして、子育て時の経済的負担の軽減を図るため、医療費の自己負担額の一部を助成するものです。

京都府の助成制度をベースに上乗せ（拡充）して実施しているもので、中学校就学前までは、入院・外来のいずれについても、１カ月２００円を超える額を助成するので、自己負担は月２００円で受診できるようになっています。

**国保加入状況**

| 年　度 | 全人口（人） | 全世帯数（世帯） | 被保険者数（人） | 加入世帯数（世帯） | 国保加入率（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 17,211 | 6,402 | 6,349 | 3,029 | 36．9 |
| 16 | 17,173 | 6,482 | 6,467 | 3,121 | 37．7 |
| 17 | 17,204 | 6,595 | 6,559 | 3,196 | 38．1 |
| 18 | 17,145 | 6,656 | 6,503 | 3,232 | 37．9 |

**１人当たり医療費の推移**